

スタッフの動機付けと職場内の相互支援による改善アプローチ

工場間接部門機能強化 のための業務効率化

システム導入やアウトソーシングだけでは得られない収益改善実現のノウハウ

【対象】

- ・工場間接部門スタッフ（品質管理、生産管理、倉庫・物流、設計・技術部門の方）
- ・職場の改善や人材の育成を率先して実施する立場の方

【研修の趣旨】

自部門の機能を高め他部門を支援することや、部門機能に見合った人件費のミニマム化により、工場全体の収益改善に貢献することは工場間接部門の共通課題であり、そのために業務に潜むムダ・ロスを排除し、得られた余力を部門機能強化のために活かすといった活人化が改善の方向性として挙げられます。

しかし、「もの」を取り扱う直接部門に比べ、間接部門では周囲からは見えにくい「情報」を取り扱うため、周囲の関与が難しくなります。そのため改善の取組みが個人任せとなりがちで、個人の意欲や能力、経験に大きく依存することで、改善の進展を遅らせ、継続できなくなることが頻繁に発生します。この点からも間接部門での改善ポイントは、『改善に対する動機付け』『改善のすべてのプロセスを個人に丸投げしない』『簡単にすぐに実践できること』を改善活動の起点として、改善サイクルを回すことです。

本研修では、『動機付けのしかけ作り』として、活動指標の設定方法やその他、動機付けの方法について、また『個人任せにならない改善のアプローチ』として発想法や科学的分析手法など、具体的ですぐに実行できるしかけ作りや改善手法を事例や演習を用いて、間接部門の改善初心者の方にもわかりやすく解説します。

【講師】

経営維新コンサルティング株式会社 代表取締役 内山 三郎

<略歴>

1999年 大手総合化学メーカー入社後、社内の原価低減やリードタイム短縮といった改善を推進。

2003年 独立系コンサルティングファームに入社。コンサルタントに転身し、製造業を中心に収益改善や人材育成など、100社以上の支援を実施。

2017年 経営維新コンサルティング(株)を設立。指示的なコンサルティング技術に加え、来談者中心療法や認知行動療法といった非指示的なカウンセリング技術を融合させ、人の意識・行動改革を起点に企業の業績改善を行う独自の支援プログラムを提供している。



経営維新コンサルティング 株式会社
Management Restoration Consulting Co.,Ltd

お申込み、お問い合わせは下記のURL・E-mailより

1. 工場間接部門の業務効率化の目的

- 1) 業務効率化の目的
- 2) 工場間接部門がおかれている状況
- 3) 間接業務効率化の改善活動を阻害するもの
- 4) 効率化に向けた改善アプローチの方法

2. 業務効率化のための個別改善手法

- 1) 間接部門の2Sの進め方 – 整理・整頓 –
 - ◆演習：間接2Sによる効果の実感と改善の動機付けの方法
 - ◆事例：スタッフ全員が楽しみながら取組める2S活動のしかけ作り
- 2) 問題を正しく発見するために必要な見方・考え方 – 発想法 –
 - ◆演習：自身の問題発見力の力量評価
 - ◆事例：誰もが理解・納得できる問題のを見つけ方
- 3) 日常の中でできるムダ・ロスの見つけ方 – 発想法 –
 - ◆演習：日常のムダ・ロスの洗い出しとその深堀
 - ◆事例：日々の改善サイクルの回し方
- 4) 見えにくい実態を可視化するための業務測定・分析手法① – 科学的分析手法 –
 - ◆演習：プロセス分析による周囲から見えにくい業務の可視化
 - ◆事例：可視化で気づきを与え解決された問題
- 5) 見えにくい実態を可視化するための業務測定・分析手法② – 科学的分析手法 –
 - ◆演習：業務測定による業務の具体化・定量化
 - ◆事例：時間に対する意識を高め効率化の実現
- 6) 間接業務の機能分析の進め方 – 機能分析 –
 - ◆演習：モデル業務の機能分析
 - ◆事例：機能分析による業務のスリム化

3. 業務効率化の推進方法 – 実践事例 –

- 1) 活動の動機付け
 - ◆事例：スタッフを巻き込むための動機付けのしかけ
- 2) 改善活動の土壌作り
 - ◆事例：改善行動の日常業務への落とし込み
- 3) 実態把握
 - ◆事例：失敗しない業務棚卸の進め方
- 4) 問題点抽出とその対策実施
 - ◆事例：問題の深堀から対策実施の進め方
- 5) 活動プロセスの評価方法
 - ◆事例：継続的な活動を推進するためのしかけ作り
- 6) 活動指標KPIの設定方法
 - ◆事例：業務効率化活動指標のいろいろ
- 7) 部門機能向上に向けた活人化
 - ◆事例：工場収益改善に向けた人の活かし方

経営維新の研修・セミナー

3つの特徴

